

# 電波時計 取扱説明書

## (報時付掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

- お使いになる前に、この説明書をよくお読みください。
- お読みになった後も、必ず保管して必要に応じてご覧ください。

### もくじ

1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください	2
2. 電波時計について	3
■ 電波時計とは	
■ 標準電波とは	
■ 電波の受信範囲について	
■ 標準電波の送信停止について	
■ 海外でのご使用について	
電波を受信しにくい環境	
3. 各部の名称と役割	4
4. ご使用方法	5
受信の流れと受信表示ランプの見かた	5
報時機能の設定	6
明暗センサーとスリープモニター	6
静電気による誤作動について	6
時計の掛けかた	7
5. 標準電波を受信できない場合	8
手動での時刻合わせ	8
6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作	8
7. 電池の交換時期お知らせ機能	9
■ 電池の交換について	
■ 電池の種類について	
■ 電池の寿命について	
8. お手入れについて	10
9. 電池・製品の廃棄	10
10. おもな製品仕様	10
11. アフターサービスについて	11
お問い合わせ先	
保証書	裏表紙

製造  
発売元 **リズム株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12  
<https://www.rhythm.co.jp>


# 1. 安全にお使いいただくためにはじめにお読みください


ここに示した事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○ 禁止（してはいけないこと）を示しています。

● 指示する行為を必ず守ることを示しています。


## **警告** 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない  
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る


- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。


 梱包用のポリ袋をかぶらない  
窒息する恐れがあります。


 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。


## **注意** 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容


 電池の⊕⊖を正しく入れる  
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

 強い振動や衝撃を与えない  
故障や破損の原因になります。

 浴室やサウナ、温室など、高温・高温になる所では使わない  
さびや故障の原因になります。

 めれた手でさわらない  
さびや故障の原因になります。

 分解や改造をしない  
けがや故障の原因になります。

 下記のような場所では使わない  
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。 ● ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

## 2. 電波時計について

### ■ 電波時計とは

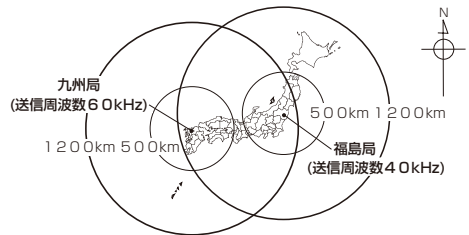
クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

### ■ 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

### ■ 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



福島局と九州局の標準電波を自動選択して受信します。

### ■ 標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

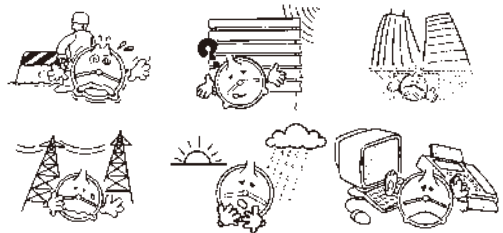
### ■ 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。電波受信機能をOFFにして、手動で時刻を合わせてご使用ください。

### 電波を受信しにくい環境

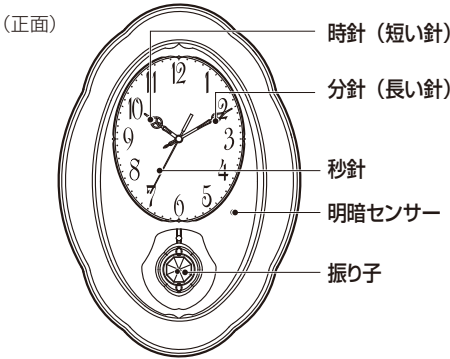
次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間など
- 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

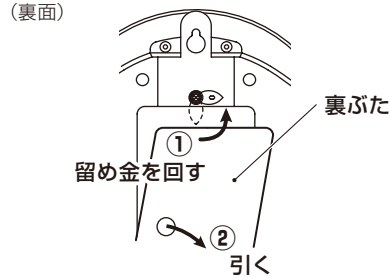


### 3. 各部の名称と役割

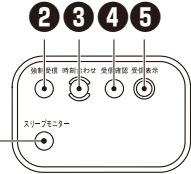
●図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



#### 裏ぶたの取り扱い



(裏面操作部)



スリープモニター

明暗センサーと

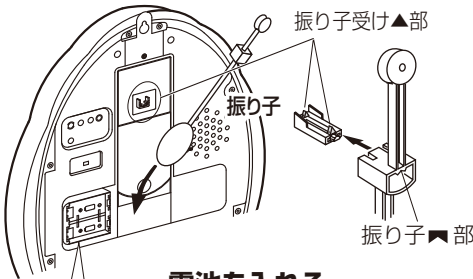
スリープモニター (P.6) 参照



①

#### 振り子を取り付ける

- ① 振り子を入れる
- ② 振り子を載せる



#### 電池を入れる

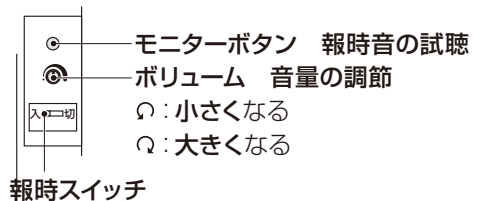
単2形アルカリ乾電池 2個

⚠注意

電池の⊕/⊖を逆に入れると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

- ①電波受信スイッチ 電波受信機能のON/OFFを切り替えます。
- ②強制受信ボタン 電池を入れた直後に押します。
- ③時刻合わせボタン 手で時刻を合わせるときに使用。  
**不用意に押すと時刻が変わります。**
- ④受信確認ボタン 押すと受信結果を受信表示ランプでお知らせします。
- ⑤受信表示ランプ 受信状態や受信結果を点灯、点滅、消灯でお知らせします。

(側面操作部)



## 4. ご使用方法

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、**（手動での時刻合わせ）**(P.8) を参照してください。

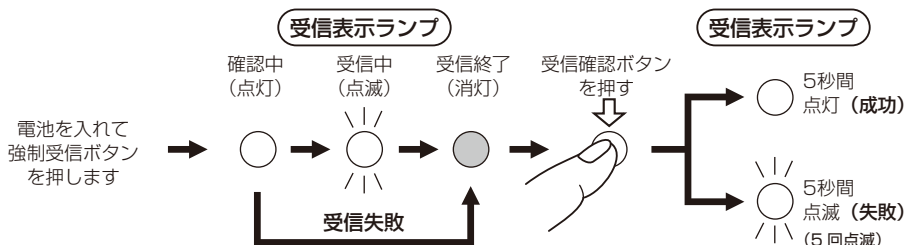
◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- ① メロディが大きな音で鳴らないようにボリュームを左に回して最小にする
- ② 電波受信スイッチをONにする
- ③ 裏ぶたを取り外す
- ④ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
- ⑤ 強制受信ボタンを押すと受信表示ランプが点灯して受信を開始する  
針は受信が終わるまで止まったままで、受信が終わると早送りで移動を開始します。  
※電池を入れた後は、必ず強制受信ボタンを押してください。  
※受信中はボタンの操作をしないでください。
- ⑥ 振り子を取り付ける
- ⑦ 裏ぶたを取り付ける
- ⑧ **（時計の掛けかた）** (P.7) に従って時計を確実に掛ける
- ⑨ 15分待って受信確認ボタンを押して受信結果を確認する  
受信表示ランプが5秒間点灯すれば、受信に成功しています。正しい時刻を表示します。5秒間点滅しているときは、受信に失敗しています。

「5. 標準電波を受信できない場合」(P.8) を参照してください。

◎報時は **（報時機能の設定）** (P.6) に従って設定してお使いください。

### 受信の流れと受信表示ランプの見かた



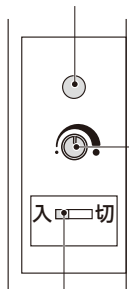
標準電波の受信は、最長で15分程度行います。

- 点滅せずに消灯したときは、電波を検出できません。設置場所を変えてください。
- 受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
- 受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

## 報時機能の設定

毎正時にメロディを1曲奏でます。メロディは毎正時に切り替わります。

### モニターボタン



### ボリューム

### 報時スイッチ

ON : 毎正時にメロディを1曲奏でる。

OFF : 停止します。

\*明暗センサーと連動して暗所では報時しません。

### ボリューム (音量の調節)

モニターボタンを押すとメロディを1曲奏でますので、その間にボリュームを回して調節してください。

### モニターボタン (メロディの試聴)

モニターボタンを押すと1曲メロディを奏でます。鳴っているときにモニターボタンを押すと、次のメロディに切り替わります。

次に報時するときは、再生の順番がひとつ進みます。

### 報時スイッチ

○メロディは時刻ごとに固定されていません。

○曲名は時計裏面に表示してあります。

※時刻合わせボタンを操作して、正時たとえば10時にしても報時をしません。

## 明暗センサーとスリープモニター…暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別したときは、秒針が12時位置に停止します。また、報時をしなくなります。

※秒針が明るいところでも常時停止するときは、電池の交換時期です。

「7. 電池の交換時期お知らせ機能」(P.9)を参照してください。

昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

スリープモニターボタンを押し続けると、秒針は12時位置になると停止して、暗い状態を再現します。スリープモニターボタンを離すと秒針は早送りですぐに現在時刻に移動します。

## 静電気による誤作動について

静電気の影響により、正常に機能しなくなることがあります。このようなときは強制受信ボタンを押してください。

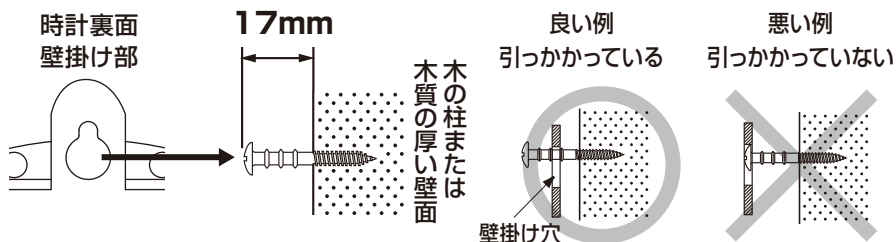
## 時計の掛けかた

**注意** 掛けかたが不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。
- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。
- 掛け部以外のところに掛け具を掛けないでください。

### ■ 木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



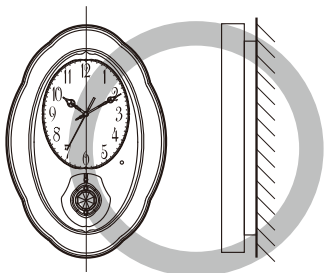
### ■ その他の壁面の場合

- 石こうボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

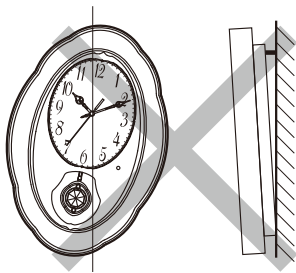
※時計を垂直に掛けてください

振り子の動きが乱れたり、止まることがあります。

良い例



悪い例



## 5. 標準電波を受信できない場合

---

### ●朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくことを受信できる可能性が高くなります。

### ●場所を変える／受信をやり直す

電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

### ●時刻を合わせ使用する

ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

### 手動での時刻合わせ……………電波を受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

### 操作

○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。

○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき秒針は停止します。

秒は時刻合わせボタンを離したとき、ゼロ秒に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動きます。

## 6. 電波受信機能のON/OFF切り替え操作

---

ノイズなどにより誤受信しやすい所や、意図的に時間をずらしてお使いになるときに、電波を受信しないようにすることができます。電波受信スイッチをONにすると定期的受信を行い、OFFにすると受信しません。

※受信に成功した状態でOFFにすると24時間以内は受信表示ランプが点滅することがあります。

※OFFのときに電池を入れたり、強制受信ボタンを押すとONのときと同様に受信ランプが点灯して時分針および秒針が早送りしますが受信を行わずに時刻の表示になります。



## 7. 電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。

明るい所で秒針が12時位置に停止したら速やかに新品の電池にすべて交換してください。

※電池の交換時期をお知らせしてから1ヵ月程度は時計と分針は動き続けます。

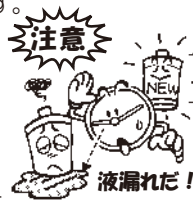
※強制受信ボタンを押して受信しているときは、明るい所でも秒針が12時位置に停止します。

※電池残量が少ない状態で、使い続けると正常に機能しなくなります。

### ■ 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

**注意** 電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
  - 時計が動いていても1年に1回定期的に交換する。
  - 古い電池と新しい電池、マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
  - 電池の⊕⊖を逆に入れない。
- ※電池は、同じメーカーの同じ種類の電池を使用することをお勧めいたします。



### ■ 電池の種類について

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

### ■ 電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

## 8. お手入れについて

---

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

## 9. 電池、製品の廃棄について

---

- お住まい地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

## 10. おもな製品仕様

---

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと		
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒 温度が5～35℃のとき		
推奨電池	単2形アルカリ乾電池 JIS LR14 2個		
電池寿命	約1年 報時の音量中位 17回/日報時		
電波時計機能	電波の受信に成功すると時刻を修正		
受信局	福島局/九州局 自動選択		
受信回数	最少1回/日 最多12回/日 *受信状態により変化		
受信開始時刻	2時、3時、4時 各時間帯の16分40秒 *2時16分40秒は必ず行う 72時間以上受信できないときは、奇数時の16分40秒に受信を開始する		
受信ON/OFF	あり		
報時機能	毎正時にメロディを奏でる	暗所秒針停止	明暗センサーに連動して停止
報時精度	表示時刻に対して±1秒	電池交換時期 お知らせ機能	秒針が12時位置に常時停止
報時音	電子音	防滴防塵機能	なし
暗所自動鳴り止め	明暗センサーと連動して報時を停止		
音量調節	ロータリー式		

※付属の乾電池（マンガンまたはアルカリ）は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱していますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。使用する電池は、お試し用電池の種類に関わらず、「おもな製品仕様」に記載の推奨電池をお求めください。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## 11. アフターサービスについて

時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

### ●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。

### ●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。

Service and technical support for this product are available only within Japan.

### お問い合わせ先

ご使用方法やアフターサービスについてのご相談は、お客様相談室にお問い合わせください。

**お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号(型番)をお伝えください。**

例 4MN○○○

(フリーダイヤル)

**お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

付属品 お試用電池 2個、 振り子 1個、 木ねじ 1個、 取扱説明書・保証書 本書

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますので、ご了承ください。

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。

必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

※品名・型番

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 ご氏名 様

ご住所

TEL( ) ー

※販売店印(住所、店名、電話番号)

※印は販売店記入

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載しております。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

## ■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

## 保証について

※送料・出張料は、実費をいただきます。

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書のご提示がない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
8. 電池の交換